

# 学会賞の選考結果について

証券経済学会賞選考委員会

## 1. 応募状況

応募数 6 点（著書 2 点、論文 4 点）

## 2. 選考結果

最優秀賞 該当なし

優秀賞 忽那憲治著『IPO市場の価格形成』中央経済社、2008 年

## 3. 講 評

選考に当たって、

- ・ 専門論文としての要件を満たしているか
- ・ 研究内容にオリジナリティがあるか
- ・ 問題意識、分析枠組みが明確で、論文としての完成度が高いか
- ・ 先行研究を十分に消化しているか
- ・ 証券経済学会のテーマとして相応しいか

の各点を評価基準とした。

応募業績のうち、3 点の業績については、論理の整合性に欠ける、分析のインプリケーションについて問題意識に欠ける、テーマとして取り上げるには論点が狭すぎる、などの理由で受賞候補から外された。

それ以外の 3 点の業績については、選考委員の間でやや意見が分かれたが、最終的に忽那憲治氏の業績が優秀賞に相応しいという結論で一致した。

3 点の業績について、選考委員の主要意見を簡単に整理しておきたい。

忽那憲治氏の著書は、学会のテーマとしてふさわしい、先行研究を消化した上で各国市場における IPO 価格形成の特徴をコンパクトに整理している、日本の IPO 価格形成の問題点を摘出することに成功しているとして、高く評価する委員が多かった。他方では、分析の視点や手法について新規性が認められない、啓蒙的、教科書的な色彩も見られるといった指摘もあった。総合的には、最優秀賞には今一步であるが、優秀賞に相応しいという意見で一致した。

以 上